

2024年7月10日
フューチャーアーキテクト株式会社

フューチャーアーキテクト、アパレル EC のオムニチャネル戦略支援プラットフォームサービス
「OmnibusCore」をダイドーフォワードに提供
～外部 EC モールとの関係を強化し運用最適化を実現～

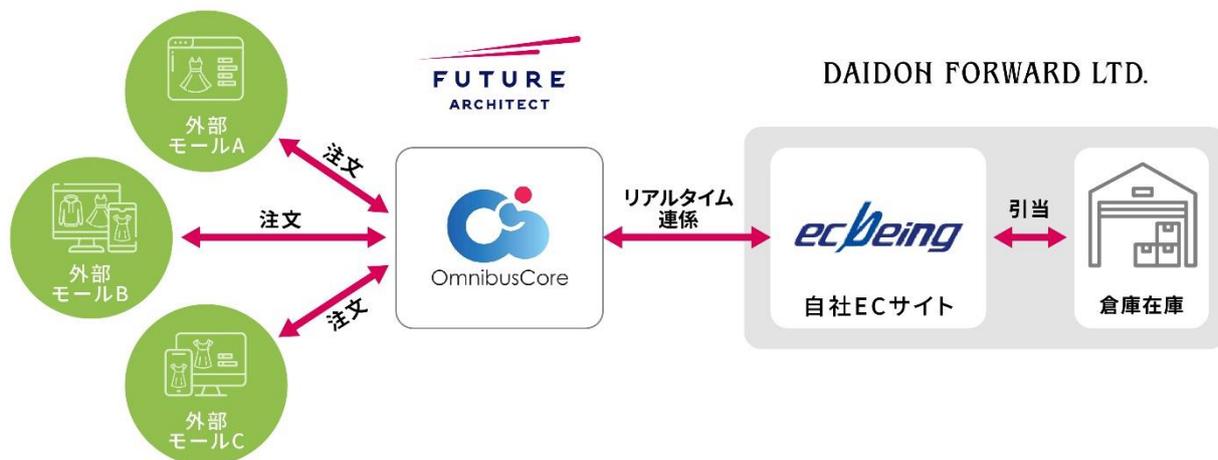
フューチャー株式会社(証券コード:4722)の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト)は、株式会社ダイドーフォワード(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:成瀬功一郎、以下ダイドーフォワード)が運営する自社 EC サイトと、外部 EC モールとの関係強化に向けて、2024年6月よりオムニチャネル戦略を支援するクラウド型プラットフォームサービス「OmnibusCore(オムニバスコア)^{*1}」を提供します。OmnibusCore を活用した外部 EC モールとのデータ関係により、ダイドーフォワードの EC 販売効率化や、販売機会の最大化、消化率の改善に貢献します。

OmnibusCore は、EC 関連企業間のデータを連携し、オムニチャネル化を支援するプラットフォームです。販売情報の一元化により販売機会の損失を低減します。自社システムの情報を外部 EC モールに自動で適用できるため、モールごとに実施していたデータメンテナンスが不要になり、運用負荷が軽減されるとともに、商品数の拡大や新たな外部 EC モール出店が容易になります。また、予約販売や BtoC 出荷データの自動連携、商品情報の管理・連携など、ニーズに対応した機能の提供や、カスタマイズも可能です。

これまでフューチャーアーキテクトは 20 以上の EC サイトと約 30 のメーカーに対して OmnibusCore でのデータ自動連携スキームを提供してきましたが、今回はダイドーフォワードが自社 EC サイトに採用している中堅・大手企業向け EC プラットフォームシステム「ecbeing」^{*2} と外部 EC モールとのシームレスなデータ関係を実現しました。外部 EC モールからの引き当てを OmnibusCore から ecbeing にリアルタイムで連携することで、在庫効率化を可能にします。ダイドーフォワードでは OmnibusCore を活用して 2024年6月時点で 2 つの外部 EC モールと連携し、年内に9つまで外部 EC モールとの関係を拡大する予定です。

■OmnibusCore サービスイメージ図

自社ECサイトと外部ECモールをリアルタイムで在庫連携することで在庫効率を最大化



伸長する国内 EC 市場において、衣類・服装雑貨等のアパレル分野は EC 化率 21.6%^{*3}と、物販系 EC 市場の中でも高い水準で推移しています。EC での販売強化が重要性を増す一方、EC サイトの運用負荷や、システム開発・管理コストは増大しています。フューチャーアーキテクトでは、アパレル業界での豊富なシステム開発の実績と知見に基

づいたサービス提供によりお客様の DX を推進することで、業務効率化による経営課題解決と利益最大化を図るとともに、在庫の適正化による持続可能な成長に貢献します。

※1. OmnibusCore: https://www.future.co.jp/architect/our_service/solution/#omnibuscore

※2. 「ecbeing」は株式会社 ecbeing (読み: イーシービーイング、本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長: 林雅也) が提供する EC サイト構築プラットフォームです。

※3. 経済産業省「電子商取引に関する市場調査」より。2022 年時点の数字。

■ 本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 流通サービス事業部 宗田、窪岡

お問い合わせフォーム: https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/service_solution_entry.php

■ 本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャー株式会社 広報 松本、石井 TEL:03-5740-5721

お問い合わせフォーム: https://www.future.co.jp/apps/contact/corp/press_interview_entry.php